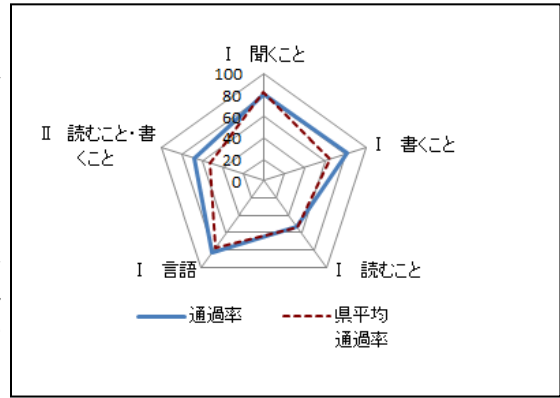
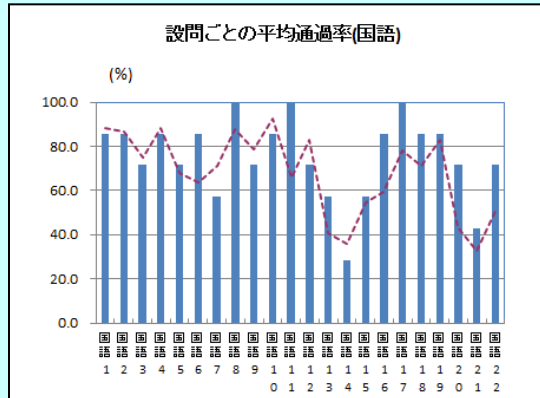


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 75.3%, 県 68.0%)

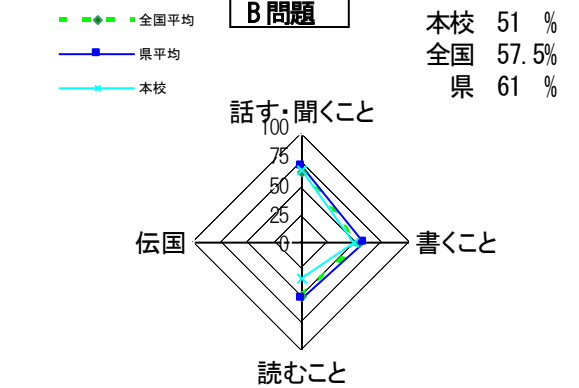
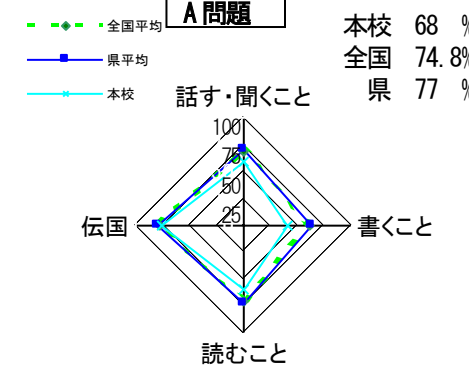
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ローマ字の書き方 (Uguisu) ができない。(通過率 71.4%)
- ◎叙述を基にした想像 (自分の考えの記述) ができない。(通過率 28.6%)
- ◇学年別漢字配当表に示されている漢字 (対象) を正しく書く事ができない。(通過率 20%)
- ◇自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることができない。(通過率 0.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎ローマ字を繰り返し書いて、覚える活動をさせる。
- ◎読書活動を充実させ、叙述について自分の考えをまとめ、感想文を書く学習をさせる。
- ◇漢字を繰り返し書いて、覚える活動をさせる。
- ◇読解力をつけるために、家庭学習やチャレンジタイムに読解力をつける問題に取り組ませる。また、読書活動の推進を行う。
- ※小中一貫した取組は、読書活動を充実させ文学的文章を読み取る際に、言動や情景などの心情を把握する手がかりを丁寧にたどらせ、文章中から根拠をとらえさせる力につないでいく。小学校では、漢字やローマ字を書いて覚える練習を行い定着を図る。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			4・5年生 学期末テスト	1～4年生 学力標準テスト	4年生 H28「基礎基本」	3・4年生 学年末テスト
目標値	75.0%			75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実施後数値	77.1%			86.5%	76.3%	63.1%	91.3%

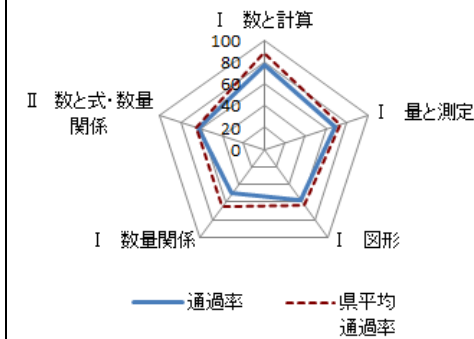
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年生 小テスト			6年生 H28「全国学力」	5・6年生 学力標準テスト	5年生 H28「基礎基本」	5・6年生 学年末テスト
目標値	75.0%			65.0%	70.0%	75.0%	75.0%
実施後数値	84.0%			65.7%	78.7%	63.3%	84.2%

来年度に向けて

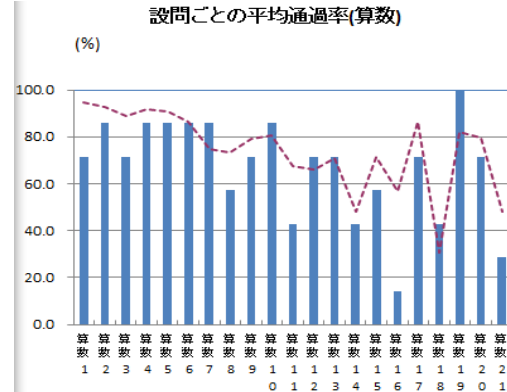
ローマ字や漢字を繰り返し書いて覚えるように指導する。小テストや家庭学習で定着を図る。また、読解力を付けるために引き続き読書活動を充実させる。

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 66.7%, 県 74.3%)

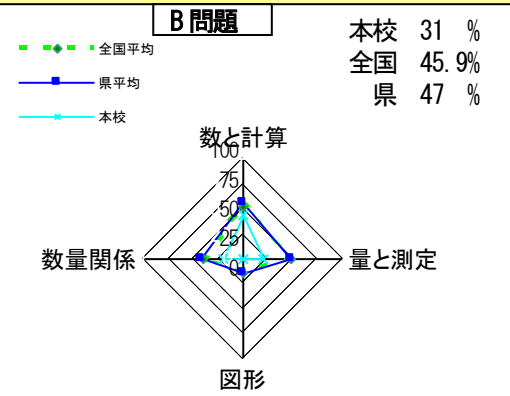
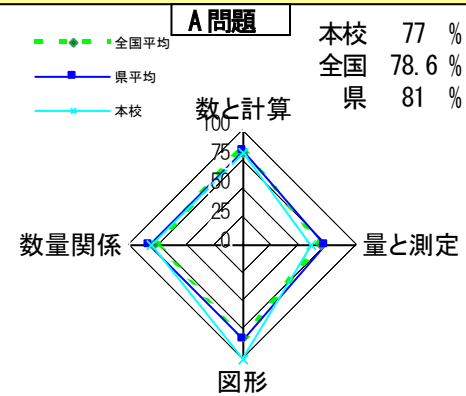
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率(算数)



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎問題の意味を把握し、( ) を使って1つの式に表すことができない。(通過率 14.3%)
- ◎事象を解釈し、根拠を説明することができない。(通過率 29.6%)
- ◇示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述することができない。(通過率 0%)
- ◇身近なものに書き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述することができない。(通過率 0%)

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎目的に応じて表やグラフを選び、活用する算数的活動を取り入れる。表やグラフから分かることを指さして提示しながら、その視点を言葉に表し説明させる。また他教科における複数の資料から取捨選択するような問題との関連も図り、日常生活のさまざまな事象から、情報を読みとらせるような活動を仕組む。
- ◎見積もりを生活や学習場面で活用できるように場の設定を行う。具体的な問題場面に即して何の位までの概数にして計算するか判断できるように位取り表等を活用して指導を行う。
- ◇筋道をたてて考え、その考えや説明の仕方をノートに言葉や数、式を用いて記述させたり発表させたりする。算数用語や話型を活用できるように学習コーナーに掲示しておく。毎日の学習で、基礎問題→確認問題→深化問題に取り組み、既習事項を活用して発展問題に意欲的に取り組む態度を養っていく。
- ◇数学的な考え方を身につけさせるために、文章題等を家庭学習でも取り組ませるようにする。
- ※小中一貫した取組は、数量関係をしっかりと捉え、問題解決できるよう自分の考えを式や図、表、グラフ等を用いて筋道を立てて説明させる学習を取り入れる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4年生 小テスト			4・5年生 学期末テスト	1～4年生 学力標準テスト	4年生 H28「基礎基本」	3・4年生 学年末テスト
目標値	70.0%			75.0%	70%	75.0%	75.0%
実施後数値	70.0%			72.2%	75.8%	57.0%	80.0%

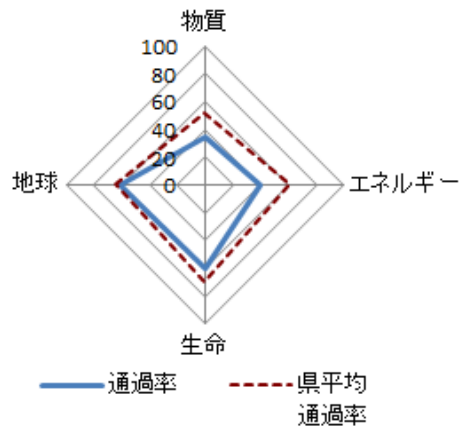
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			6年生 H28「全国学力」	5, 6年生 学力標準テスト	5年生 H28「基礎基本」	5年生 学年末テスト
目標値	60.0%			60.0%	70.0%	75.0%	75.0%
実施後数値	85.7%			70.2%	67.8%	86.4%	82.9%

### 来年度に向けて

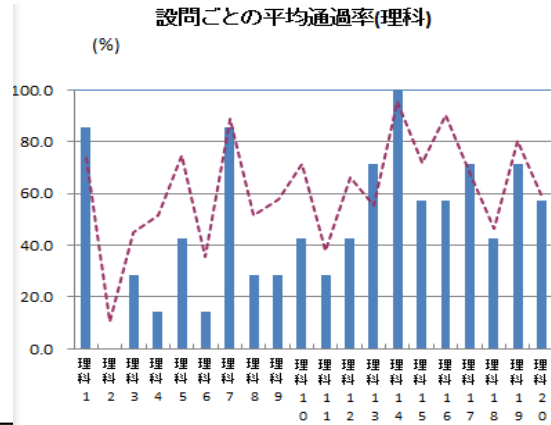
問題の意味をとらえ立式できるように四則計算の混ざった文章題の練習問題に多く取り組ませるようにする。学習を定着させるため、繰り返し練習問題に取り組ませる。筋道をたてて説明する力をつけるため、毎日の学習の中で活用問題に取り組ませる。また、適宜、個別指導を行う。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 48.6%, 県 61.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎① とじこめた空気の性質や金属のあたたまり方について、提示された調べたいことや予想に合うように、実験方法や道具を工夫することができていない。(通過率14.3%)
- ◎② 日光を重ねたときのあたたかさについて、他の結果と比較して理由を述べることができていない。(通過率14.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業等)

- ◎① 実験計画を立てる学習場面において、調べたいことを明確にして、予想に合わせて実験方法や道具を工夫する学習活動を行う。
  - ◎② 観察・実験の結果の考察において、結果同士を比較し、理科的な用語を使いながら説明し合う活動を繰り返し取り入れる。
- ※ 小中一貫した取組は、既習事項を基に予想を立て実験・観察を行い結果を考察する取組を通して、1つ1つの知識理解をつなぎ、自分の考えを理由をつけて他者に伝える力を育てる。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年生 課題に即した小テスト	4・5年生 学期末テスト	5年生 課題に即した小テスト	4年生 H29「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値			60%	70%	80%	60%	75%
実施後数値			84.3%	88.1%	88.6%	55.1%	80.5%

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 課題に即した小テスト			4・5年生 学期末テスト	5年生 課題に即した小テスト	4年生 H29「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	75.0%			70%	80%	60%	75%
実施後数値	92.9%			88.1%	82.9%	55.1%	80.5%

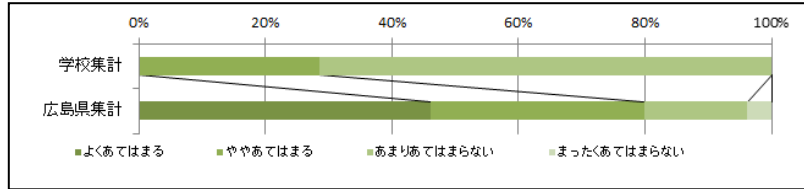
来年度に向けて

理科用語を使いながら、説明する活動を通して、結果や考察を言葉にすることができ始めているので、今後とも継続していく。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査)

(1) 生活・学習

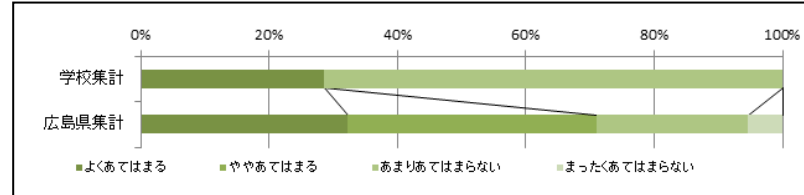
授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。



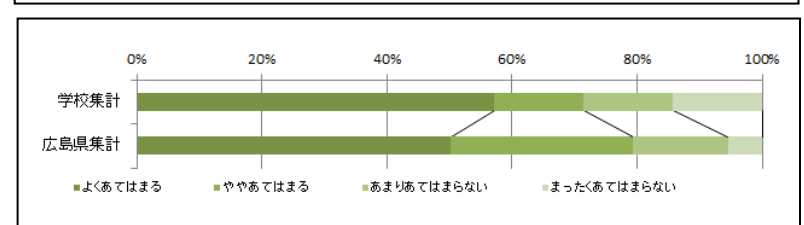
	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしていると答えた児童の割合が、28.6%である。	授業中において、グループでの話し合いやペアトーク、発表を聞いてさらに発表をつなげる活動など、課題解決の手法を工夫する。	5	70%	児童アンケート調査	12月	100%	71.4%
全国	授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと答えた児童が、80%と高い。	授業中において、グループでの話し合いやペアトーク、発表を聞いてさらに発表をつなげたり文章に書いたりする活動などに慣れさせる。	6	40%	児童アンケート調査	1月	40%	40%

(2) 教科

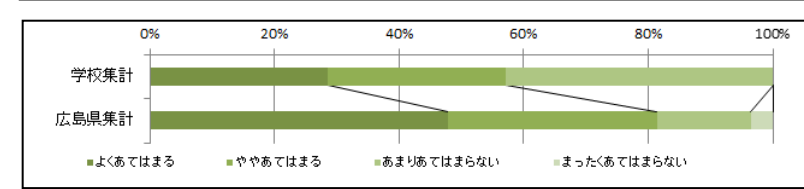
国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



算数の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



理科の授業では、観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている児童が28.6%と低い。	5	70%	児童アンケート調査	12月	71.4%	42.8%
	全国	国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていると答えた児童が、60%である。	6	80%	児童アンケート調査	1月	60%	0%
算数	基礎・基本	算数の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりする児童が60.0%と低い。	5	70%	児童アンケート調査	12月	71.4%	11.4%
	全国	算数に関する質問に対する回答は、どれも8割以上と高い。	6	80%	児童アンケート調査	1月	60%	-20%
理科	基礎・基本	理科の授業で、観察や実験を行うとき、目的は何か意識している児童が、57.1%と低い。	5	70%	児童アンケート調査	12月	100%	42.9%